

平成28年度 当初予算要求の概要

局・区名

建設局

要求総額

48,209

百万円

(対前年度予算 + 35.3 %)

局区予算要求方針

建設局では、道路・河川・公園など市民生活に欠かせない都市基盤の維持管理及び更新を行っています。平成28年度の当初予算要求においても、国の社会資本整備総合交付金などの特定財源の確保に努め「防災・減災」に視点を置き、安全・安心なまちづくりを推進するとともに、快適な市民生活の実現に向け以下の点に重点を置いた予算要求を行います。

- ①東日本大震災などを教訓とし、南海トラフ巨大地震などにも備えるため、都市基盤を強化し、安全・安心なまちづくりに取り組みます。
- ②市民生活の安全性と利便性を向上させるため、都市基盤の整備と適切な維持管理・更新を進めます。
- ③自転車や百舌鳥古墳群内に立地する大仙公園など、本市の地域資源を活かしたまちづくりを進め、積極的に発信します。

※ 給料、職員手当、共済費等各局で要求しないものは除く

重点的に取り組むもの

【※ ◎は新規事業、○は拡充事業】

1 都市基盤の維持管理

要求額

- 都市インフラ施設維持点検・管理計画策定 291 百万円

取組内容 平成27年度末に策定予定の公共施設等管理計画における施設毎の行動計画の策定を進めるとともに、点検・診断・措置・記録のメンテナンスサイクルを実施し、アセットマネジメントの考え方に基いた計画的な補修や、予防保全による適切な維持管理を行うことで、市民などの安全確保を図るとともに、将来予想される維持管理費用削減と平準化を図ります。
また、平成28年度は、緊急交通路などの幹線道路を対象に、路面下空洞調査を実施し、発見された事象に対し適切に対処することにより、道路陥没による重大な事故を未然に防ぎます。

- 橋りょうの耐震強化及び長寿命化修繕事業 4,146 百万円

取組内容 国土交通省は、緊急輸送ルート等の耐震化を今後5年間で重点投資することを盛り込んだ「国土交通省南海トラフ巨大地震対策計画」を平成26年4月に公表しました。これに伴い、平成28年度においても、平成27年度に引き続き、国庫補助金を当事業に重点投資することが予想されることから、市の財政負担を軽減するためにも、この重点投資期間を機に、最大限の事業を実施します。
長寿命化修繕事業への取組としては、吾彦大橋や大浜高架橋との耐震対策工事（長寿命化分）との合体発注を行うことにより、長寿命化の充実と、経費節減にも努めます。

2 都市基盤の整備

- 南海本線連続立体交差事業 3,060 百万円

取組内容

平成28年度は、仮線工事を事業区間全体で進めていくとともに、浜寺公園駅・諏訪ノ森駅の両駅部の工事を進めます。
鉄道の高架化により、7箇所の踏切の除却や側道、駅前線を整備することにより、一体的なまちづくりの実現、良好な生活環境や安全で円滑な交通を確保します。

- 阪神高速道路大和川線事業 25,516 百万円

取組内容

平成28年度は、常磐工区開削トンネル工事や本線シールドトンネル工事などの大規模工事の完了を予定し、部分供用に向けた事業推進を図ります。大阪都市再生プロジェクトにおける「新たな環状道路」の一部を形成する阪神高速道路大和川線は、平成31年度全線供用を目指し、事業のピークを迎えます。

- 大仙公園整備事業 233 百万円

取組内容

本市のシンボルパークとして、世界文化遺産と調和し、史跡・文化及び教養施設を備えた「風格ある総合公園」として整備を進めます。

3 塚らしい地域資源を活かした取り組み

- 自転車通行環境整備事業 369 百万円

取組内容

堺市自転車利用環境計画にある4つの柱のうち「はしる（通行環境）」の施策の展開として、自転車ネットワーク整備アクションプラン50kmに基づき、歩行者の安全を第一とし、自転車利用者の安全にも配慮した自転車道や自転車レーンに重点をおいた自転車通行環境の整備を行います。
(※平成27年度から平成34年度の8か年で50kmの整備計画)
自転車ネットワークの形成を進めることにより、自転車による回遊性や快適性を高め、自転車関連事故の減少につなげます。

行財政改革の項目

1 歳入の確保

効果額

- 都市計画道路事業予定地(事業認可前)の暫定利用(有効活用) 1 百万円

取組内容

一定期間以上、事業着手が見込まれない事業予定地について、民間事業者を対象として貸し付け、有効活用を図ります。